

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	基礎看護技術Ⅴ	時間数	30時間
講師名	専任教員	履修学年	1年次
概要	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な食事・排泄への援助技術、知識、態度を習得する。		
学習目標	1. 食事の意義とメカニズム、アセスメントの方法を理解する。 2. 食欲・摂取能力に応じた食事介助の必要性を理解し具体的な食事介助の方法を学ぶ。 3. 経口的な栄養摂取が行いにくい場合の摂食・嚥下訓練について学ぶ。 4. 非経口的な栄養摂取の援助の概要を理解し、経鼻経管栄養法の具体的な方法を学ぶ。 5. 排泄の意義とメカニズム、アセスメントの方法を理解する。 6. 自然排尿・排便の機序を学ぶ。 7. 一時的導尿、持続的導尿について学ぶ。 8. 便秘のアセスメントと便秘改善のケアを理解し浣腸と摘便の方法を学ぶ。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	1. 食事の意義（栄養と食事の基礎知識） 2. 健康と食生活（生理的・心理的・社会的意義） 3. 食事のアセスメントの視点 ①食事内容の視点②病院の食事 ③経口摂取時の注意点	講義	
2	1. 食事の援助（経口摂取の援助）①食事内容の視点②病院の食事 ③経口摂取時の注意点	講義	
3	食事介助の実際（お粥・お茶・水ゼリー等）	演習	
4	非経口摂取の援助（非経口栄養の目的・適応・種類）	講義	
5	経管栄養の実際（経鼻胃チューブ挿入と栄養摂取の援助）	演習	
6	1. 排泄の意義（排泄の基礎知識） 2. 自然排尿・自然排便の意義（生理的・心理的・社会的意義） 3. 排泄のアセスメントの視点 ①排泄のメカニズム②健康障害が 排泄に及ぼす影響③排泄物の観察	講義	
7	排泄行動 ①トイレでの排泄援助 ②ポータブルトイレでの排泄援助 ③床上での排泄援助(便器・尿 器を使用した援助の実際) ④陰部洗浄	講義・GW	
8	床上での排泄援助の実際（便器・尿器）	演習	
9・10	陰部洗浄・オムツ交換	演習	
11	1. 排尿障害（一時的導尿・持続的導尿） 2. 排便障害 ①排便のメカニズム ②排便障害の定義 3. 排便障害とその援助 ①便秘・下痢・便失禁 ②浣腸・摘便 4. ストーマケア 5.膀胱留置カテーテルの管理	講義	
12	排尿障害とその援助（膀胱留置カテーテル挿入の実際）	演習	
13	排便障害とその援助（浣腸・摘便）	演習	
14	技術試験 （陰部洗浄・オムツ交換）	試験	
15	まとめ/試験	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研			
成績評価の方法			
技術試験30％ 筆記試験70％			
備考			
15回全て各クラスでの講義			